

武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信

Vol. 28

令和7年10月31日

発行／編集 武蔵野市健康福祉部地域支援課

平成27年度に介護保険法の地域支援事業として制度化された「在宅医療・介護連携推進事業」での8事業を踏まえつつ、「日常の療養支援」「入退院時支援」「緊急時の対応」「看取り」といった医療と介護の両方が必要となる生活の場面を想定し、さらに取り組みをすすめていきます。

在宅医療・介護連携推進事業での取り組みについて医療・介護関係者の皆様に共有することを目的として武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信を作成しました。

ICT連携部会

【医療・介護関係者の情報共有の支援】

○令和7年10月6日（月）午後7時～午後8時 オンラインにて開催されました。

MC Sではセンシティブな情報を取り扱うことから登録されている登録者の情報を整理しています。事業所において退職や人事異動等により登録者の変更があった場合はすぐに修正していただくようお願いします。また登録者に関して武蔵野市医師会在宅医療介護連携支援室から問い合わせをする場合がありますのでご協力ください。

機器をうまく活用しながら業務効率化している事業所の取組みなど情報共有しながら、デジタル機器を苦手とする世代もあるなか、どうICTリテラシーの向上をはかるかが課題とされました。

多職種連携推進研修部会

【医療・介護関係者の研修】

○令和7年10月16日（木）午後7時～午後9時 市役所811会議室にて開催されました。

「災害時における医療と介護～地域BCPを考える～」として研修会を開催しました。医師会、歯科医師会、薬剤師会を始めとする医療関係者、ケアマネジャーや訪問看護リハ、訪問看護や通所サービス事業所、在宅介護・地域包括支援センターや地域活動支援センターなどのほか、柔道整復師会や保健所からの参加もありました。さらに防災課から見学者がありました。

在宅介護・地域包括支援センターの圏域ごとにグループとなり、武蔵野市の地図を見ながら具体的な災害を想定した話し合いを行いました。出されたさまざまな意見については次の部会のなかで整理しながらまとめていく予定です。

「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」 連携型BCP地域BCP策定モデル事業に採択されました

また令和7年度厚生労働省「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」連携型BCP地域BCP策定モデル事業に武蔵野市で行われている多職種連携推進研修部会の取組みが採択されました。昨年度多職種連携推進研修の講師として武蔵野市にも来ていただいた慶応義塾大学山岸先生を始めとする専門家委員からご意見ご助言をいただきながら、多職種連携推進研修部会でまとめたものを連携型BCPや地域BCPにつなげるようすすめていくこととなります。

第13回 東京都在宅医療推進フォーラム2025で報告しました

令和7年9月20日（土）午後2時～全国町村会館2F大ホールにて「東京都における災害と在宅医療～私たちは在宅療養者をどう守るか～」（主催：一般社団法人全国在宅療養支援医協会/東京都在宅療養支援医協会 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団）が開催されました。シンポジウム「災害時に在宅療養者のLifeを守るための多職種による地域BCP」の演者のひとりとして武蔵野市地域支援課福山和彦課長より行政からみたLifeを守る地域BCPとして、多職種連携推進研修部会での取組みについて報告しました。



相談日 月・火・木・金 / 相談時間 9時～17時 電話番号 0422-39-8780

相談担当 社会福祉士・介護支援専門員 石井いほり/ICTサポート担当 上村理紗子

【事務局】 武蔵野市地域支援課 在宅医療介護連携担当（金丸）